

# 静岡・焼津 全国高校生平和集会

「知らなかつた」

2024年4月2日(火曜日)

【国民運動】赤旗

(11)

## ビキニ事件70年を学ぶ



久保山愛吉さんの墓前で黙とうする  
人たち=3月27日、静岡県焼津市

2024全国高校生平和集会

各地から集まった高校生たちは、焼津市歴史民俗資料館で特別展示されている第五福竜丸の歴史を見学し、第五福竜丸が帰港した港や久保山愛吉さんと妻のすずさんが眠るお墓などを訪れました。

静岡県焼津市内で3月27、28の両日、全国高校生平和集会が開かれ、ビキニ事件を学び、交流しました。焼津で同集会が開かれるのは年。第五福竜丸が帰港した初めてです。

加を求める署名を2025年までに30000人分集めることを目指していき決意を語りました。

沖縄の代表は、沖縄にも水爆実験の被災船があったと紹介。しかし、アメリカの占領下だったため放射線検査もされなかつたことなど報告しました。

2日間の学び、交流を通して、「自分の頭で考えられる人になりたい」「おのづくことなく、声をあげていきたい」「政治に関心が

### 自分事として…グループ討論

七つのグループに分かれ、それぞれ講師を交えて討論しました。

反核医師の会全国世話人

検診やビキニ被災船員の調査をしてきた医師、ビキニ

「ビキニ事件は人権問題。時効はない」と指摘し、国の謝罪が必要だと語った。

被災船員訴訟を支援する会の共同代表の一人の間間元さんが、5人の高校生に語りました。

事件後は、船主さんから魚の値段が下がるから黙つたことを忘れないで」と述べました。



グループ討論で間間さんの話を聞く人たち=3月28日、静岡県焼津市内

高校生たちは「水爆被害、原爆被害、原発事故について解決ができるのか」「人権に時効がないということについて考えてみた」。微用語の問題など過去から現在にかけて国は誠実な態度をとっていない。日本に民主主義はどれくらいあるのか、自分事として考えたい」と感想を話しました。

「平和ゼミナールの仲間がもっと多い方がいいと思う。人数が多くなると知名度が上がるし、政治に関心度が上がる」と、政治の話をしていけたらと思う」「署名に足を止めてもらうために説明する知識がない。否定する意見も含めて受け入れながら、学んでいきた」と交流しました。

## 考え方・声あげ・広げたい

広島の高校生は「広島や長崎の原爆被害は学びますが、ビキニ事件のことは知りませんでした。放射能を含む白い灰により、内部被ばくすることを知りました。核兵器はなくさなくてはいけないと語りました。

同集会に参加した沖縄、

広島、愛知、埼玉、東京、静岡の高校生は焼津市内でそれぞれの取り組みを報告。静岡エバーグリーンは四つの高校の取り組みを披露。焼津高校演劇部が久保山愛吉・すずさんの物語を朗読劇で演じました。

東京の代表は、ロシアのウクライナ侵略、イスラエルによるガザ攻撃に抗議の声をあげたことや、日本政府に核兵器禁止条約への参